



発行/大垣市役所 編集/企画部秘書広報課 〒503-8601 岐阜県大垣市丸の内2-29 ☎(0584)81-4111

大垣市民の誓い

私たちは 水を生かし
緑を広げ 安全に努め
心を育て 助け合います
(ホームページURL)
http://www.city.ogakig.jp/

夏を彩る祭り
とぎわう



◀七夕飾りで彩られにぎわった会場

▼幻想的な明かりが水門川に浮かんだ万灯流し



水まつり ~幻想的な万灯流しも~

水都の夏の風物詩「芭蕉元禄の街大垣 水まつり」が8月5日から8日まで、大垣駅通りや本町通り、水門川沿いを中心に繰り広げられました。

良質で豊富な水の恵みに感謝しようと毎年行われているものです。

商店街に取り付けられた華やかな七夕飾りが祭りムードを盛り上げ、水まんじゅうの無料配布、県内の名水の試飲など多彩なイベントがありました。

歩行者天国となった大垣駅通りでは大垣おどり大会があり、浴衣姿の市民

らが踊りの輪を作って、にぎやかな夏の夜を過ごしたほか、7日夜には、万灯流しも行われ、手づくりの万灯がゆらゆらと川面を幻想的に彩りました。



ステージで行われた太鼓演奏

もんでこかみいしづ

上石津の夏の一大イベント、緑の夏まつり「もんでこかみいしづ」が7月24日、かみいしづ緑の村公園で開かれました。勇壮な太鼓演奏やウナギつかみ、盆踊り大会などが盛大に行われ、フィナーレは花火大会。山あいの静かな夜空に色鮮やかな花火が打ち上がりました。



祭りのフィナーレを飾った花火大会

すのまた天王祭

古くから「お天王さん」と呼ばれ親しまれている「すのまた天王祭」が7月25日、墨俣町墨俣一円で開かれました。にぎやかな阿波踊りが練り歩き、町内の軒先には、野菜や果物などを組み合わせて作った創造性豊かな「ダシ」が並びました。



◀軒先に並んだ「ダシ」

▲にぎやかに練り広げられた阿波踊り

祭りのフィナーレを飾った花火大会

今後、北部学校給食センターの改築も予定されています。安全でおいしい給食を届け、これからの大垣を担う大切な人材として、子どもたちがすくすくと育ってくれることを願っています。

衛生管理に配慮したほか、施設の2階には、調理エリアを見学できる通路や、食育指導ができる研修室を設けました。そのほかにも、食器の点数を2点から4点に増やすことで多彩なメニューが可能となり、ご飯給食の時に汁物が提供できるようになりました。また、食器の材質をステンレスから強化磁器に変更するとともに、高性能な断熱配送容器を採用しました。

私の小中学校時代、給食は自校方式として学校内で調理されてきました。市内では、墨俣小学校が今も自校方式を採用しています。現在は、学校給食センターが整備され、集中センター方式が主流となっています。市内には、南部・北部・上石津の3つの給食センターがあり、一日約1万5200食を子どもたちに提供しています。その一つ、新田町の南部学校給食センターは、開設後40年以上が経過し、施設・設備が老朽化してきました。このため、最新の衛生管理やさらなる効率性を求め、外野3丁目へ移転新築しました。新学期の9月から給食の提供を開始します。

南部学校給食センターの移転整備には、民間の資金やノウハウを活用する「PFI方式」を採用しました。設計、建設、維持管理、給食の配送を一貫して民間事業者が委ねることで、財政支出の低減が期待できるなどのメリットがあります。

市長の
おなまきずん
PFI方式で整備
南部学校給食センター
大垣市長 小川 敏